

令和3年度富士見市介護保険特別会計予算（概要）

1 予算概要

(1) 予算編成概要

令和3年度は、新たに策定した「第8期富士見市高齢者保健福祉計画」の初年度となる。本計画の基本理念は、第7期計画の基本理念であった「住み慣れた地域で、いつまでも生きいきと生活できる支えあいのまち」を引き継ぐこととしており、①健康長寿で生活を送るために、②住み慣れた地域で安心・安全で生活を続けるために、③お互いが支えあい、生きいきと生活を送るために、④介護保険事業を継続的に運営していくために、の各基本方針に基づき、地域包括ケアシステムの更なる深化・推進を積極的に進めていくための予算編成を行ったものである。

(2) 予算規模

令和3年度介護保険特別会計予算の歳入歳出総額は77億1,460万2千円となり、前年度に比べ3億3,003万9千円の増、率にして4.5%の増となった。

主な要因は、認定者数の増加や介護報酬改定に伴う保険給付費の増加などによるものである。

2 歳入予算の主な特徴

(1) 保険料

介護保険料の総額は、介護給付費の増加に伴う保険料基準額の増額により17億2,712万2千円を見込み、前年度に比べ4,186万8千円の増、率にして2.5%の増となった。

(2) 国庫支出金

国庫支出金の総額は15億8,595万5千円を見込み、前年度に比べ6,903万7千円の増、率にして4.6%の増となった。

主な要因としては、国庫負担金が、保険給付費の増加に伴い5,770万7千円の増となったことによるものである。

(3) 支払基金交付金

支払基金交付金は、保険給付費の増加に伴い20億1,183万2千円を見込み、前年度に比べ8,433万6千円の増、率にして4.4%の増となった。

(4) 県支出金

県支出金は11億1,244万5千円を見込み、前年度に比べ4,299万9千円の増、率にして4.0%の増となった。

主な要因としては、県負担金が、保険給付費の増加に伴い4,234万8千円の増となったことによるものである。

(5) 繰入金

繰入金は12億7,525万9千円を見込み、前年度に比べ9,167万5千円の増、率にして7.7%の増となった。

主な要因としては、一般会計繰入金が、保険給付費の増加に伴い9,366万7千円の増となったことによるものである。

3 歳出予算の主な特徴

(1) 総務費

総務費は8,932万7千円を見込み、前年度に比べ1,767万8千円の増、率にして24.7%の増となった。

主な要因としては、介護保険制度改正に対応するためのシステム改修費の増額や、介護認定申請件数の増加に伴う認定調査費用及び審査会開催に係る費用の増加などによるものである。

(2) 保険給付費

保険給付費は72億8,959万3千円を見込み、前年度に比べ3億786万円の増、率にして4.4%の増となった。

主な要因としては、高額介護サービス費や補足給付の見直し等の制度改正による減額分を見込む一方で、認定者数の増加や介護報酬改定に伴う保険給付費の増加などによるものである。

(3) 地域支援事業費

地域支援事業費は3億2,777万6千円を見込み、前年度に比べ457万9千円の増、率にして1.4%の増となった。

主な要因としては、生活支援サービス事業における認定者数の増加に伴う給付費の増や、在宅医療・介護連携推進事業における事業費の増などによるものである。

4 令和3年度介護保険特別会計予算（款別一覧）

（単位 千円）

歳 入			歳 出		
款 名 称	令和3年度 当初予算額	対前年度 増減額	款 名 称	令和3年度 当初予算額	対前年度 増減額
1 保険料	1,727,122	41,868	1 総務費	89,327	17,678
2 国庫支出金	1,585,955	69,037	2 保険給付費	7,289,593	307,860
3 支払基金交付金	2,011,832	84,336	3 地域支援事業費	327,776	4,579
4 県支出金	1,112,445	42,999	4 基金積立金	1,505	△78
5 財産収入	1,505	△78	5 諸支出金	1,401	0
6 繰入金	1,275,259	91,675	6 予備費	5,000	0
7 繰越金	1	0			
8 諸収入	483	202			
合 計	7,714,602	330,039	合 計	7,714,602	330,039